

# 地域での自立生活

## ～入所施設からの地域移行～



ヒューマンケア協会 内山裕子  
相談室さくらそう 松田真実

本文中に掲載している写真は、すべてご本人の同意を得て掲載しています

# 自己紹介

名前：内山裕子

障害：ギラン・バレー症候群

- 約3年の長期入院を経て、**2010年11月**  
東京都日野療護園  
（現：立川療護園はごろもの音）入所
- **2016年6月** 地域移行
- ヒューマンケア協会当事者スタッフ
- 趣味はライブに行くこと（ドリカム大好き♪）  
とおいしいものを食べること



# なぜ施設入所したのか

- 「あなたのような重度な人は施設に行くしかない」と言われた
- 親と暮らすか施設に行くかの二択を迫られた



高齢の母に負担をかけたくなかった

本当は施設なんて嫌だったけれど、私が行くと言えばすべて丸く収まると思い、泣く泣く入所することを決断した

# 地域移行のきっかけ

## 自立生活センターの当事者スタッフとの出会い

わたしより障害の重い人が、地域で介助を受けながら  
ひとり暮らししている！  
しかも、バリバリ働いている！すごい！！

障害が重度になったら何もできない

とっていた考え方が大きく変わった

# 地域移行に向けての準備

自立生活  
プログラム

- 行政交渉
- 住宅探し

住宅改修

# 大変だったこと

## 借りられる部屋がない！

- 電話で「車いすなんですけど…」と言うと「ああ～うちには物件ないですね」と話も聞かず門前払い
- なんとか内見にこぎつけても住宅改修の許可が得られない  
行ってみたらエレベーターが小さくて車いすが入らない！なんてことも

**障害者の住宅探しは偏見と無理解との闘い！**

こんな部屋で生活しています



# 大変だったこと

## 派遣事業所探し

- 重度訪問介護の支給量が多い分、複数の事業所を見つける必要があった → 1つの事業所ではまかないきれない
- 土日祝日はどこも人手不足、特に見つからなかった

## 介助者との関係性の構築

- 家族ではない人が常に同じ空間にいる
- 介助方法を伝えることの難しさ



## 地域移行支援で施設職員としてサポート ①

### 地域移行支援会議、地域の相談事業所や地域の自立センター、行政機関との会議への参加

- 地域移行支援の利用開始に伴う、地域の相談事業所、地域の自立生活センター、行政機関との会議に同席、地域移行支援会議に同席。  
⇒地域の相談事業所、地域の自立生活センターと協働することで地域での暮らしや施設でできる支援を確認できる機会になりました。

地域移行支援とは、障害者支援施設等に入所している方または精神科病院に入院している方など、地域における生活に移行するために重点的に支援を必要としている方に対して、住居の確保などの地域生活に移行するための相談や必要な支援を行います。

○外出同行 ○福祉サービスの体験的な利用支援 ○体験的な宿泊支援 ○その他の必要な支援（ご本人の希望や退所にあたって体験や準備が必要なこと等々）

## 地域移行支援で施設職員としてサポート ②

### 短期入所の空床利用

- 施設退所後、住む場所に住民票を移してから、住宅改修の申請・支給になる為、アパートで退所後すぐに生活することが難しい。



- 施設退所後空床になる部屋で、そのまま短期入所を利用する。
  - ・変わらない部屋で生活できる。
  - ・介助者の面談やレクチャーも慣れた生活の場でできる。
  - ・施設側としては、次の利用者が決まる手続きや面談などの入所調整中も短期入所支援として収入が入る。

## 地域移行支援で施設職員としてサポート ③

### 介護レクチャー・地域生活での介護者の 面談時のフォローなど

- 介護レクチャー、施設入所中に内山さんと施設の現場職員が話しながら積み上げた介助方法を参考資料として内山さんにお渡しする。
- 内山さんが介助者との面談など、必要時に同席・環境設定。

# 自立生活は大変なことばかり？

→めっちゃ楽しい！！

ライブにも自由に行ける～♪

新しい出会いもいっぱい！

施設にいたら経験できなかったことだらけ！

